

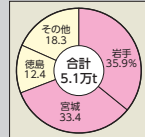
デジタル教科書指導案／地理的分野

1. 題材 p.262-263 果樹栽培と水産業における人々の工夫や努力
2. 目標
 - (1) 東北地方の果樹栽培や水産業の特色を理解できる。
 - (2) 東北地方で果樹栽培が盛んな理由を、自然環境と生産の工夫から考察できる。
3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	・東北地方で栽培が盛んな果樹と、その主な生産地を理解している。
思考・判断・表現	・東北地方で果樹栽培が盛んな理由を、水はけがよい地形や昼夜の寒暖差が大きい気候、新しい品種の開発などから考えている。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)
導入	1. 「さくらんぼの選別と箱詰め作業」の写真を題材にし、本時の課題をつかむ。 2. 東北地方で栽培が盛んな果物とその産地を予想し、学習課題への見通しを持つ。	資料1: さくらんぼ農家の作業風景 (p.262 1) 資料2: さくらんぼの栽培スケジュール表 (p.262 2) さくらんぼ農家は、1年を通してどのような仕事をしているのだろうか。 東北地方で生産が盛んな果物とその産地を予想してみよう。	○ 「さくらんぼの選別と箱詰め作業」の写真を題材にし、さくらんぼの栽培にはどのような作業があるのか確認させながら、本時への導入を図る。 ○ 東北地方で生産が盛んな果物とその産地を予想させる。 ○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。
	学習課題：東北地方で盛んに行われている果樹栽培や水産業には、どのような工夫や努力がみられるのだろうか。		
展開	3. 東北地方では、りんごやさくらんぼなどの果物の生産が盛んなことを理解する。 (1) 東北地方で生産が盛んな果物 (2) 果物の主な産地	資料3: 東北地方の果樹生産量と産地 (p.262 3) 東北地方の果樹の特色を読み取ってみよう。 資料4: 果樹の生育状況 (p.262 4) 資料5: 果物の収穫と出荷 (p.263 5) それぞれの果物の主な生産地を調べてみよう。	○ 学習プリントを活用し、東北地方の果物の生産についてまとめさせる。 ◆ 全国の果物生産に占める東北地方の割合が高く、さくらんぼや西洋なし、りんごは半数以上を占めていることを理解させる。 ○ 学習プリントを活用し、りんごとさくらんぼ・桃の栽培が盛んな地域を調べさせ、まとめさせる。 ◆ りんごの主な生産地は東北の北部に、さくらんぼと桃は東北の南部に多いことに気付かせる。

展 開	(3) さくらんぼの栽培の工夫	<table><tr><td>自然環境</td><td>(例) 水はけがよく、日あたりのよい扇状地が広がっているほか、昼夜の気温差が大きく、果樹栽培に向いているから。</td></tr><tr><td>人々の工夫や努力</td><td>(例) 「佐藤錦」や「紅秀峰」などの美味しい品種を開発してきたほか、雨で実が割れないようにビニールで覆っている。</td></tr><tr><td>交通網</td><td>(例) 高速道路や空港が整備され、出荷先が増えたほか、観光農園も盛んになった。</td></tr></table> 山形盆地のさくらんぼ栽培では、どのような工夫が行われているのだろうか。  p.263 8  p.263 7  p.263 6 東北地方で生産が盛んな水産物を挙げてみよう。 <table><tr><td>魚の水揚げが多い理由</td><td>三陸海岸の沖合いには、寒流の(1 親潮)と暖流の(2 黒潮)が出会う(3 潮目(潮境))は魚が集まる豊かな漁場になっている。</td></tr><tr><td>養殖業が盛んな理由</td><td>(4 リアス海岸)が続く三陸海岸の入り江や、青森県の陸奥湾は、波が穏やかで、養殖に適している。</td></tr></table> 東北地方の太平洋側で水産業が盛んな理由をまとめてみよう。  p.255 5  p.263 9 東北地方で水揚げ量が多い漁港を挙げてみよう。	自然環境	(例) 水はけがよく、日あたりのよい扇状地が広がっているほか、昼夜の気温差が大きく、果樹栽培に向いているから。	人々の工夫や努力	(例) 「佐藤錦」や「紅秀峰」などの美味しい品種を開発してきたほか、雨で実が割れないようにビニールで覆っている。	交通網	(例) 高速道路や空港が整備され、出荷先が増えたほか、観光農園も盛んになった。	魚の水揚げが多い理由	三陸海岸の沖合いには、寒流の(1 親潮)と暖流の(2 黒潮)が出会う(3 潮目(潮境))は魚が集まる豊かな漁場になっている。	養殖業が盛んな理由	(4 リアス海岸)が続く三陸海岸の入り江や、青森県の陸奥湾は、波が穏やかで、養殖に適している。	○ 山形県のさくらんぼの栽培の特色と農家の工夫を調べさせる。 ◆ 水はけと日あたりがよい扇状地の地形を生かしていることに気付かせる。 ○ 盆地は夏の昼夜の気温差が大きく、果樹栽培に向いていることに触れる。 ○ 東北地方で生産が盛んな水産物を挙げさせる。 ◆ こんぶやわかめ、かきなどの養殖とかつおやさんまなどの水揚げが多いことを理解させる。 ○ 学習プリントを活用し、東北地方の太平洋側で水産業が盛んな理由をまとめさせる。 ◆ 沖合いに潮目があることから魚介類の水揚げが多いことや、リアス海岸の地形を生かした養殖業が盛んなことを理解させる。 ○ 東北地方の主な漁港を挙げさせ、震災後の復興の取り組みについて補足する。 ◆ 気仙沼や石巻などの漁港は、東日本大震災で大きな被害を受けたが、復興を目指した努力が続けられていることに気付かせる。
	自然環境	(例) 水はけがよく、日あたりのよい扇状地が広がっているほか、昼夜の気温差が大きく、果樹栽培に向いているから。											
	人々の工夫や努力	(例) 「佐藤錦」や「紅秀峰」などの美味しい品種を開発してきたほか、雨で実が割れないようにビニールで覆っている。											
	交通網	(例) 高速道路や空港が整備され、出荷先が増えたほか、観光農園も盛んになった。											
魚の水揚げが多い理由	三陸海岸の沖合いには、寒流の(1 親潮)と暖流の(2 黒潮)が出会う(3 潮目(潮境))は魚が集まる豊かな漁場になっている。												
養殖業が盛んな理由	(4 リアス海岸)が続く三陸海岸の入り江や、青森県の陸奥湾は、波が穏やかで、養殖に適している。												
整 理	5. 本時のまとめをする。	東北地方の果樹栽培農家にみられる生産の工夫について、説明しよう。	◆ 東北地方の果樹栽培農家にみられる生産の工夫について、高品質な品種の開発、観光農園の開設や果物の輸出などに着目して説明できたか確認する。										
	6. 学習課題への振り返りの活動を行う。	「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。	○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。										